

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	村上市郷土資料館 他8施設	評価対象年度	令和元年度
指定管理者名	公益財団法人 イヨボヤの里開発公社	所管課	生涯学習課
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)	評価者(課長)	板垣 敏幸

①事業実績

利用実績	郷土資料館・若林家住宅・村上歴史文化館入館者数23,384人、三の丸記念館利用者数2,470人、武家住宅入館者数6,121人
サービス向上の取り組み	①接客研修等への参加、②ホームページ及びSNSの充実、③関係職員による改善案の掲示と対応、④募金形式でのサービスの提供。

②管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (29年度)	前年度 (30年度)	当該年度 (元年度)	合計	備考	
収入	指定管理料	50,082	51,138	51,873	153,093	基本協定額:257,703,582円	
	利用料金						
	自主事業収入	204	89	156	449		
	その他	122	100	86	308		頒布品売上
	計	50,408	51,327	52,115	153,850		
支出	管理経費	50,082	51,138	51,873	153,093		
	(うち人件費)	25,184	25,862	26,980	78,026		
	(うち光熱水費)	3,944	4,092	3,768	11,804		
	(うち修繕費)	896	929	529	2,354		
	(うち委託料)	12,577	12,762	12,434	37,773		
	自主事業費	277	416	278	971		
	計	50,359	51,554	52,151	154,064		
差引	49	▲ 227	▲ 36	▲ 214			

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	4	8.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由) 市民および観光客に対して村上の歴史や文化を広く紹介し、市民に親しまれる公の施設として、スタッフ一体となって取り組んでいる様子が見られる。コロナウイルスによる休館の期間があったためか、昨年より入館者は2,379人減少したが、来館者アンケートの実施により利用者の意向把握に努め、施設の運営を行っている。今後もより一層PR方法や展示企画を工夫する必要があると考えられる。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	5	10.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	4	6.4	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか 利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか	4	4	3.2	
(評価理由) 接客研修の実施や来館者アンケートから接客のスキルアップを積極的に行っている。また、定期的なホームページの更新やSNSを利用したPRも行っている。来館者アンケートは毎日確認し迅速に対応している。来館者の要望や意向をより聴取できるような工夫も必要。自主事業は積極的に実施し好評を得ており評価できる。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費削減の具体的な取り組みはされているか			
適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	5	8.0	
	指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか				
(評価理由) 省エネルギー対策を継続的に行い経費削減に努めている。また、再委託業務については、安易に再委託せず職員が直接整備し、コロナウイルスの影響による休館期間中は再委託を停止し、同様に職員が作業をすることにより経費節減に努めている。会計処理は適切に行われている。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	4	3.2
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	5	4.0
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	5	4.0
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	5	4.0
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	5	4.0
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	5	4.0
	(評価理由) 人員配置については各人の適正に応じて効率的に配置され、各施設とも適切に管理されているが、将来を見据えた専門的な業務を担当する人材(博物館学芸員等)の育成・雇用についても検討をお願いしたい。個人情報にかかわる受託資料等については所有者情報を保護しながら適切に管理しており、パソコンにもセキュリティーソフトを導入してウイルス等による個人情報データの流出防止の措置をとるなど、情報管理は適切に行われている。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) 日常的に職員による巡視等により施設の設備点検や警備を適切に行っているが、消防設備等については一昨年度からの設備改修に伴い年1回の防災訓練のほかにも点検や訓練の頻度を増やして非常時の対応に万全を期する必要がある。また、敷地全体(郷土資料館を除く)の警備体制の充実を図り、防犯対策について遺漏が無いよう留意してもらいたい。備品や消耗品の管理は適切に行われている。				

④総合評価

評価点合計	87.6	評価ランク	A
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

施設管理や利用者への対応については適切に行われており、利用者アンケートでも良好な結果が得られている。施設運営やPRではおおむね良好な結果と評価されるが、今後も市民の要望や歴史・文化の振興に寄与する企画展示や講座の開催等を通じて、施設全体の利用者増加に向けた取り組みを進めてもらいたい。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

今後とも適切な施設管理と親切丁寧な対応を心がけ、利用者の満足度向上を目指して施設の管理運営にあたってもらいたい。令和元年度はコロナウイルスによる影響等により郷土資料館入館者は減少に転じた。今後もこの影響により入館者数等も含め運営に様々な懸念されることもあるが、引き続き入館者増加に向けたPR方法や企画展示について検討するとともに、郷土資料館等が貴重な地域資料の保存や市民の郷土史学習の拠点として最大限活用されるよう運営に取り組んでもらいたい。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数	評価基準
5	1.0	特に優れた取り組み、対応が行われている。特に成果が現れている。仕様書等より特に優れた提案がなされ実施している。
4	0.8	優れた取り組み、対応が行われている。成果が現れている。仕様書等より優れた提案がなされ実施している。
3	0.6	適切な取り組み、対応が行われている。適切に仕様書等のとおり実施している。
2	0.4	一部改善が必要な取り組み、対応がある。仕様書等に規定されている項目を一部行っていない。
1	0.2	全面的な改善が必要な取り組み、対応がある。全面的に仕様書等に規定されている事業を行っていない。

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク	区分	評価基準
S	95.0以上	管理施設運営状況が、特に優れている。
A	80.0以上95.0未満	管理施設運営状況が優れている。
B	60.0以上80.0未満	適正な管理施設運営状況である。
C	60.0未満	管理運営状況に改善の必要性がある。